

「木造軸組工法住宅における国産材利用の実態調査」

操作の手引き・記入例

1. 協会HP「ニュースーお知らせ」掲載記事「第7回木造軸組工法における国産材利用の実態調査
ご協力のお願い」から「国産材利用実態調査回答用紙 プレカット会社様用」のエクセルファ
イルをダウンロードしてください。 <https://www.mokujukyo.or.jp/>
ファイル名の後ろに「ー貴社名」を記入し『名前をつけて保存』してください。

2. 入力

- ① 黄色のセル で表示されている部分に数値を入力してください。

(3)地域別年間 納入住宅数	北海道	東北	関東	北陸・甲信越
	戸	戸	戸	戸

- ② ☐ の部分は該当するものを選択してクリックしてください（複数回答可）。

	部材	構造材	羽柄材	合板
(4)木材の購入方法 (主なものにチェック を付けてください。)	①住宅会社から購入先を指定	☒	☐	☒
	②住宅会社から商品・仕様・品質を指定	☒	☒	☐
	③プレカット工場に一任	☐	☒	☐
	④加工のみ(賃加工)	☐	☐	☐

- ③ ☐ の部分は主なものを一つ選択してください。

①管柱	☒ 105mm	☐ 120mm	☐ 135mm以上
②通し柱	☒ 105mm	☐ 120mm	☐ 135mm以上
③土台	☐ 105mm	☐ 120mm	☐ 135mm以上
④大引	☐ 90mm	☐ 105mm	☐ 120mm以上

- ④ 赤色のセル は特に重要な項目です。必ず入力をお願いいたします。

部位	構造用合板						
	全戸の中で 使用している 戸数の割合	1住宅あたり の平均使用 量	国産材(※4)				異
			ヒノキ 100%	スギ 100%	カラマツ 100%		
①床	%	m ³	%	%	%	%	%
②外壁	%	m ³	%	%	%	%	%
③屋根	%	m ³	%	%	%	%	%

- ⑤ 合計欄のセルの色がピンクになっている場合は、合計が100%になっていないので、100%になるように数値を入力してください。

(2)基準寸法 (モジュール) ／戸数割合	約910mm	1,000mm(メートル)	その他 () mm)	合計
	50 %	20 %		70 %

NG

合計が100%になるとセルが水色になります。

(2)基準寸法 (モジュール) ／戸数割合	約910mm	1,000mm(メートル)	その他 () mm)	合計
	80 %	20 %		100 %

OK

※紙のアンケート表では最初から「100%」と記載されています。
合計が100%になるように各欄に割合を記入してください。

- ⑥ 合計欄のセルが無色の場合は、記入した数値の合計が自動計算されます。

※紙のアンケート表では、ご自身で合計をご記入ください。

(2)地域別年間 供給住宅数	北海道	東北	関東	北陸・甲信越	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄	年間供給住宅数 合計
	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	0 戸

3. データの送信

入力が終了したら上書き保存し、メールに添付して送信して下さい。

■回答データ送信先

集計担当会社（株式会社オプコード研究所）宛

メールアドレス info@opcode-labo.com

上記のメールアドレスのリンクをクリックするとメールが立ち上がります。

情報セキュリティの観点から、ファイルはパスワードの設定をおすすめいたします。

■問合せ先

（一社）日本木造住宅産業協会 資材・流通部（担当：吉田・赤坂）

東京都港区六本木1-7-27 全特六本木ビルWEST棟2F

TEL:03-5114-3014 FAX:03-5114-3020

記入例

木造軸組工法住宅における国産材利用の実態調査に関するアンケート
2023年度の戸建て住宅納入実績調査

回答先

FAX:03-5114-3020 または メール:info@opcode-labo.com
(一社)日本木造住宅産業協会 資材・流通部 あて

ご回答期限

2024年10月15日(火)

※アンケートにご回答の上、2024年10月15日(火)までにFAXまたはメールにてご返信ください。
なお、回答内容の不明点等について連絡させていただく場合があります。ご理解の程、よろしくお願いいたします。

＜アンケートご回答の注意＞

- ・2023年度(令和5(2023)年4月～令和6(2024)年3月)の**木造戸建て住宅納入実績**でご回答ください。貴社の決算期によっては、1月～12月等の実績でも構いません。
- ・国産のスギやカラマツと外国産のベイツなど異樹種混合で構成されている集成材、合板、LVLについては、**一部でも国産材が使用されているものは国産材として下さい。**

- : 入力するセル(数字入力またはチェック)
- : NG 合計が100%になっていません。
- : OK 合計が100%になるとセルが水色になります。
- : 重要な項目なので必ず入力してください

■問合せ先・回答送付先: (一社)日本木造住宅産業協会 資材・流通部 担当: 吉田・赤坂
住所: 東京都港区六本木1-7-27 全特六本木ビルWEST棟2F
TEL:03-5114-3014 FAX:03-5114-3020 e-mail: info@opcode-labo.com

貴社名	株式会社ABC	TEL	00-0000-0000
部署名	住宅事業部	FAX	00-0000-0000
回答者ご氏名	〇〇 〇〇	E-mail	mokuzo@abc.com
住所	東京都港区六本木1-7-27 ABCビル		

1 会社全体の納入住宅について(戸建て住宅について)

想定回答者: 渉外・総務担当(窓口)

(1)年度区分	令和	5	年	4	月	～	令和	6	年	3	月
---------	----	---	---	---	---	---	----	---	---	---	---

貴社の決算期によって、1月～12月等の実績をご記入いただく場合はここに入力してください。

(2)年間納入実績	構造材				羽柄材				合板床				合板壁				合板屋根			
	1100	戸	39,000	坪	950	戸	1100	戸	150	戸	1100	戸	150	戸	1100	戸	150	戸	1100	戸
	12000				m ³	4000				m ³	5000				m ³	500				m ³

(3)地域別年間 納入住宅数	北海道		東北		関東		北陸・甲信越		東海		近畿		中国・四国		九州・沖縄		年間納入住宅数 合計	
		戸	50	戸	1000	戸	50	戸		戸		戸		戸		戸	1100	戸

(4) 複数地域に資材を納入している会社におたずねします。使用する樹種等の仕様は統一されていますか。

☒ 全地域統一	☐ 地域ごとに異なる
--	--------------------------------

(5)資材の納入先 ／戸数割合	住宅会社・工務店		商社		製品市場		木材・建材問屋		その他		合計	
		%	60	%		%	40	%		%	100	%

(6)資材の納入先との 関係 戸数割合	自社		グループ会社		他社		合計	
		%		%	100	%	100	%

(7)住宅の注文形態 戸数割合	戸建て注文住宅		戸建て建売住宅		合計	
	70	%	30	%	100	%

2 納入住宅の概要について

想定回答者: 渉外・総務担当(窓口)

(1)1住宅あたりの 平均延べ床面積	120.0				m ²
-----------------------	-------	--	--	--	----------------

(2)基準寸法 (モジュール) 戸数割合	約910mm		1,000mm(メートル)		その他 () mm	合計
	90	%	10	%		100 %

(3)工法(接合部) 戸数割合	在来仕口工法		金物工法(※1)		その他 ()	合計
	20	%	80	%		100 %

(4)工法(その他) 戸数割合	通し柱の無い工法		根太の無い工法		水平力の支持(壁面)	筋かいのみ	面材のみ (石膏ボード含)	筋かい・面材 併用	ラーメン構造			
	50	%	90	%		50	%	30	%	20	%	0

(5)建物の階数 戸数割合	平屋建		2階建		3階建		合計
	10	%	70	%	20	%	100 %

※1:金物工法は、仕口部を金物で接合する工法で、「テックワン」「SSマルチ」などがある。部分的な補強として金物を使用するものは含まない。

記入例

3 各部位の木材使用について

想定回答者: 調達担当

この値は非常に重要です。必ず入力してください。
平均が難しければ、平均的な物件の値でも結構です。

(1) 1住宅あたりの令和5年度の平均木材使用量を記入してください。

平均木材使用量 (※2)	①管柱	②通し柱	③土台	④大引	⑤母屋、棟木	⑥横架材 (※3)	⑦間柱	⑧筋かい	⑨その他 羽柄材	①～⑨ 合計
	3.0 m ³	0.3 m ³	1.0 m ³	0.6 m ³	0.5 m ³	5.5 m ³	1.2 m ³	0.3 m ³	1.3 m ³	13.7 m ³

※2: 木材使用量は必ず入力してください。
※3: 土台・大引・母屋・棟木以外の木材を示す。

→ (1)-2 横架材における国産材の利用比率は平均的に低くなっています。横架材に国産材を使用しない理由を教えてください。あてはまる項目を選択してください。(複数回答可)

「その他の羽柄材」は、根太、胴縁、垂木、貫を示しています。

☐	①必要な強度の国産製材が入手できない。	☐	④JAS材が安定的に入手できない	☐	⑦外国産材に比べて品質や寸法にはらつきがある
☒	②外国産材の方が安定的に調達できる。	☐	⑤同じ品質・強度の外国産材より価格が高い	☒	⑧消費者のニーズが低い
☐	③乾燥材が安定的に入手できない	☒	⑥外国産材よりも価格変動が大きい	☐	⑨その他 ()

(2) 使用している木材について、各部位の木材の割合を記入してください。ここでは、縦の数値の合計が100%となります。

(材積ベース(m³))でのパーセンテージを記入してください。各部位の合計が100%となるよう記入してください。

			①管柱	②通し柱	③土台	④大引	⑤母屋、棟木	⑥横架材	⑦間柱	⑧筋かい	⑨その他 羽柄材
国産材	製材	ヒノキ	10 %	15 %							
		スギ	40 %	35 %			50 %		20 %		60 %
		その他									
	集成材	ヒノキ			30 %	35 %					
		スギ									20 %
		カラマツ				5 %					
		その他 (異樹種混合含む)									
外国産材	その他 (LVL含む)										
	製材	ベイツなど								60 %	20 %
		ベイツ			40 %	60 %	50 %	60 %		40 %	
		レッドウッド			30 %			40 %			
		ホワイトウッド	50 %	50 %					80 %		
		その他									
合計	合計(縦の数値の合計が100%となります)		100 %	100 %	100 %	100 %	100 %	100 %	100 %	100 %	100 %

▼この欄は記入不要です。

国産材比率	国産材	50 %	50 %	30 %	40 %	50 %	0 %	20 %	0 %	80 %
	外国産材	50 %	50 %	70 %	60 %	50 %	100 %	80 %	100 %	20 %

記入例

(3)部材のサイズ 最も多く使っているサイズを一つ選択してください。

①管柱	☒ 105mm	☐ 120mm	☐ 135mm以上
②通し柱	☐ 105mm	☒ 120mm	☐ 135mm以上
③土台	☒ 105mm	☐ 120mm	☐ 135mm以上
④大引	☐ 90mm	☒ 105mm	☐ 120mm以上
⑤			
⑥	全戸の中での使用割合です。100戸のうち、50戸に使用している場合は50%です。「パーティクルボード」「構造用パネル」「MDF」「無機系面材」「製材」との合計が100%になるはず(同じ建物の中に併用する場合を除く)。		
⑦			

(4)構造材(床・外壁・屋根)

この値も非常に重要です。単位はm³です。枚数ではありませんので注意してください。「パーティクルボード」「構造用パネル」「MDF」「無機系面材」「製材」についても同様です。

用されているものは国産材として下さい。フェイスバックに外注されているものは、国産材か外国産材か分からない場合は、

部位	全戸の中での使用している戸数の割合		1住宅あたりの平均使用量		国産材				外国産材		不明	合計	
					ヒノキ 100%	スギ 100%	カラマツ 100%	異樹種 混合	針葉樹	広葉樹			
①床	100	%	3.0	m ³		%		%		%		0	%
②外壁	100	%	3.5	m ³		%		%		%		0	%
③屋根	50	%	0.1	m ³		%		%		%		0	%

部位	パーティクルボード		構造用パネル(OSB)		MDF(木質中質繊維版)		無機系面材(ダイライト、モイス等)		製材(荒床材、きずり、野地板)	
	全戸の中での使用している戸数の割合	1住宅あたりの平均使用量	全戸の中での使用している戸数の割合	1住宅あたりの平均使用量	全戸の中での使用している戸数の割合	1住宅あたりの平均使用量	全戸の中での使用している戸数の割合	1住宅あたりの平均使用量	全戸の中での使用している戸数の割合	1住宅あたりの平均使用量
①床		m ³		m ³		m ³		m ³		m ³
②外壁		m ³		m ³		m ³		m ³		m ³
③屋根		m ³		m ³		m ³		m ³	95	1.0

4 木材の調達について

想定回答者: 調達担当

(1)-1 木材の購入量 ＜国産材＞ (合板は含みません)	製材						集成材						合計	
	JAS材		非JAS材		小計		JAS材		非JAS材		小計			
	400	m³	350	m³	750.0	m³	1800	m³	400	m³	2200.0	m³	2950.0	m³

(1)-2 木材の購入量 ＜外国産材＞ (合板は含みません)	製材						集成材						合計	
	JAS材		非JAS材		小計		JAS材		非JAS材		小計			
	0	m³	200	m³	200.0	m³	2200	m³	500	m³	2700.0	m³	2900.0	m³

(2)各部位の木材の購入先の割合(m³比率)をご記入ください。

	プレカット 会社(他 社)	メーカー (製材会社等)		商社		問屋		小売店	FC本部		その他		合計		
											(	)			
(2)-1構造材		%		%	40	%	60	%		%		%	100	%	・構造材は柱・土台・大引・母屋・棟木・横架材を指す
(2)-2羽柄材		%	20	%	40	%	40	%		%		%	100	%	・羽柄材は間柱・根太・筋交い・垂木・貫などを指す
(2)-3下地材		%		%	80	%	20	%		%		%	100	%	・下地材は床・壁・屋根用の合板及びムク板を指す

(3)購入先が同一品目に複数ある場合の理由(複数回答可)	☒	①安定供給	☒	②価格の維持	☐	③品質の確保
	☐	④地域分け	☐	⑤物流コスト	☐	⑥その他

(4)木材の購入方法(主なものにチェックを付けてください。)	部材	構造材	羽柄材	合板
	①住宅会社から購入先を指定	☐	☐	☐
	②住宅会社から商品・仕様・品質を指定	☒	☐	☒
	③プレカット工場に一任	☒	☒	☐
	④加工のみ(買加工)	☐	☐	☐

記入例

(5)国産材を使用する理由 (複数回答可)	☐	①外国産材よりも安定的に調達できる。	☐	⑦消費者のニーズが高い(地球にやさしい・・・など)
	☐	②乾燥材が入手しやすくなった。	☒	⑧他社との差別化につながる
	☐	③JAS材が入手しやすくなった。	☐	⑨脱炭素・SDGs推進による企業価値の向上
	☒	④外国産材よりも寸法や品質が安定している	☒	⑩地産地消の推進による地域貢献
	☐	⑤外国産材に比べて価格が安い	☐	⑪国産材を使用すると補助金が出る
	☐	⑥外国産材よりも価格が安定している	☐	⑫その他 ()

(6)国産材を使用しない理由 (複数回答可)	☒	①外国産材の方が安定的に調達できる。	☐	⑥外国産材よりも価格変動が大きい
	☐	②乾燥材が安定的に入手できない	☐	⑦外国産材に比べて強度・品質が劣る
	☐	③JAS材が安定的に入手できない	☐	⑧外国産材に比べて品質や寸法にばらつきがある
	☒	④国産材のFSCやSGEC、PEFCなどの森林認証材が入手できない。	☐	⑨消費者のニーズが低い
	☐	⑤同じ品質・強度の外国産材より価格が高い	☐	⑩その他 ()

(7)構造材でJAS材を使うことを意識していますか。

☒	している	☐	していない
----------------------------------	------	-----------------------	-------

(8)今後、特に重点的に国産材の使用量を増やしたい部材は何か？(上位3つまで。優先順に1～3を記入して下さい。)

管柱	通し柱	土台	大引	母屋・棟木	横架材	間柱	筋かい	その他羽柄材
1		2			3			

(9)木材(特に国産材)の調達についての現状や課題についてのご意見があればお書き下さい。

5 ウッドショックの影響について

想定回答者: 調達担当

(1)ウッドショック(令和2～3年)の時期に、それ以前と比べて自社での国産材利用の割合はどのように変わりましたか。

☒	増えた	☐	減った	☐	変わらなかった
----------------------------------	-----	-----------------------	-----	-----------------------	---------

(2)ウッドショック時点(令和3年)と比較して、令和5年では、国産材利用の割合はどのように変わりましたか。

☐	増えた	☐	減った	☒	変わらなかった
-----------------------	-----	-----------------------	-----	----------------------------------	---------

(3)木材の調達状況は、ウッドショック時点(令和3年)からどのように変化しましたか。

(3)-1 国産材	☒	入手しやすくなった	☐	入手し難くなった	☐	変わらない
(3)-2 外国産材	☒	入手しやすくなった	☐	入手し難くなった	☐	変わらない
(3)-3 合板	☒	入手しやすくなった	☐	入手し難くなった	☐	変わらない

(4)木材価格は、ウッドショック時点(令和3年)からどのように変化しましたか。

(4)-1 国産材	☐	高くなった	☒	安くなった	☐	変わらない
(4)-2 外国産材	☐	高くなった	☒	安くなった	☐	変わらない
(4)-3 合板	☐	高くなった	☐	安くなった	☒	変わらない

(5)今回のウッドショックを踏まえて、中長期的に国産材の利用拡大に取り組みたいですか？

☒	国産材の利用を拡大したい	☐	現状の利用割合を維持したい	☐	国産材の利用拡大を意識していない
----------------------------------	--------------	-----------------------	---------------	-----------------------	------------------

(6)ウッドショックをうけて、今後の木材の市況の見通し及び対応をどうお考えですか。ご意見があればお書き下さい。

記入例

6 森林認証、クリーンウッド法について 会社経営の観点から回答ください。

想定回答者: 渉外・総務担当(窓口)

(1)令和5年5月に公布されたクリーンウッド法の改正内容をご存じですか？

☒	よく理解している	☐	概要は知っている	☐	あまりよく知らない
----------------------------------	----------	-----------------------	----------	-----------------------	-----------

(2)クリーンウッド法に対して、今後どのような対応をしていく方針ですか？

☐	全ての資材の合法性を確認	☒	顧客要望があった場合に合法性を確認	☐	特に対応しない。
-----------------------	--------------	----------------------------------	-------------------	-----------------------	----------

(3) 構造材・羽柄材・下地材・内装材のうち、森林認証材(※5)の購入割合(材積比率)

10	%
----	---

※5:森林認証材とは、FSC、SGEC、PEFCなどの団体が認証した木材をいう。

(4) 脱炭素社会、カーボンニュートラルに国産材が貢献していることを認識していますか？

☒	いる	☐	いない
----------------------------------	----	-----------------------	-----

(5)SDGsの取組みとして国産材利用を推進していますか？

☒	いる	☐	いない
----------------------------------	----	-----------------------	-----

(6)持続可能な観点から再造林が担保されている木材の利用を意識していますか？

☒	いる	☐	いない
----------------------------------	----	-----------------------	-----

(7)森林認証、クリーンウッド法について、ご意見があればお書きください。